

西建協だより

233号

2013年
12月

西

平成二十五年度東京都・あきる野市合同総合防災訓練に参加して
(株)上坂重機開発 代表取締役 上坂 健一

今回あきる野市内で行われた訓練概要と 策本部を第二本庁舎に設置しての情報連絡訓練でした。

1. あきる野市市民運動広場では地震による土砂災害を想定した道路啓開、救出救助訓練、他。

2. 都立秋留台公園ではライフライン等の防災機関による体験訓練、ブース展示他。

3. 小宮ふるさと体験学校では孤立集落を想定したヘリコプターによる救助及び支援訓練。

以上三ヶ所が主な会場として訓練が行われました。

また訓練の特徴として、災害時の道路管理者、東京消防庁、警視庁、それぞれの役割分担に応じた訓練。現場作業のシナリオを作成しない、ブライント訓練。局災害対策本部「立ち上げをそれぞれ

「西建本部」立ち上げ報告をMCA無線で行い道路啓開準備体制を整えました。啓開訓練は松原街道を想定して、二箇所です。土砂の堆積、倒木等があり救出救助車両が通行不能状態という設定で行いました。西建現場点検班が災害状況・情報を西建本部に連絡する中、これら障害物除去の要請を受けて作業に着手しました。

作業は人力作業に五名、バックホウ、タイヤシヨベル重機作業に二名、それぞれの作業指揮者二名の体制で障害物除去↓路面清掃↓保安資材で通行帯を確保した後に、西建現場点検班の巡回車による点検で車両通行の安全確認・西建本部への連絡、西建本部から局本部への道路啓開作業終了報告を行いました。交通開放を待つ消防庁、警視庁、自衛隊、他救出救助緊急車両が訓練場所へと向かいました。訓練では「東京都建設防災ボランティア」の方々の協力もありました。

この訓練では緊急車両の通行に先立ち道路啓開を安全迅速に行わなければ救出救助に継ぎたい事を改めて実感しました。特に最近の自然災害には脅威を感じます、また建設業界も高齢化、人材不足の中、若い入職者を増やしていかなければ、この先実際に直面した時私たちはどれだけの事が出来るのか？と不安もあります。

今回の会場では海外からの公助訓練三団体を含み三十団体が訓練に参加しました。

また、秋留台公園の体験訓練では、松浦副所長自ら宣伝塔になり訓練が好評に実施出来たと伺いました。

これだけの規模の訓練に参加して貴重な体験が出来た事に社員共感謝しています。そして災害の起こらない事を願います。

東京都・あきる野市合同総合防災訓練参加報告 (株)高丘組 高丘 鳴海

舗道に落ち葉が散る頃となった11月23日(勤労感謝の日)、都立秋留台公園・あきる野広場において、東京都・あきる野市合同総合防災訓練が行われました。

西多摩建設業協同組合の組合員として、訓練実施会場の設営、訓練設備及び保安関連の設置等を行うことで、現場に直接関わったことを大変嬉しく思います。

訓練会場の準備は「浸水時扉開閉訓練」用の機材の搬入・設置、「土のう積み設置訓練」で使用する土のうの作成や、展示用の大型土のうの搬入といったことが主となりました。会場の設営も進むなか、本番の前々日には西多摩建設事務所工事二課の方々による最終チェックが行われ、看板類の位置の修正や訓練にあたる際の動線の見直し、より多くの方に訓練を体験していただけるよう、会場の様々な見直しを全員一丸となって協議しました。

会場の準備も整った本番の前日には、実際の訓練を想定したりハーサルも行われ、職員の方々にも訓練を体験していただき、当日来場される方にもどのように説明し、スムーズで安全に訓練を行えるかを思案していただきました。

そして本番当日、天気にも恵まれ400名の方が来場しました。訓練会場の周辺は、警視庁や消防庁、NTTや東京電力などの魅力的な出展があり、当初は興味を持ってもらえるか、職員の方々も心配していました。しかし予想以上に足を運んでいただき、多くの方に訓練を体験していただくことができました。

「浸水時扉開閉訓練」は、住宅等の扉が水害等により水圧を受け、扉が開けにくくなることを想定した訓練で、水圧の大小2基(水深30cm・50cm)設置を行いました。途中、水圧が大きな扉を何秒で開くことができるか、趣旨とは違った感じになりましたが、小さな子供からお年寄りまで、楽しく訓練をしていただけたと思います。「土のう積み設置訓練」については、災害にあったらどうしよう、土のうをちゃんと作って積むことができるだろうか?意外に大変だという声も聞こえ、地域住民の災害に対する危機意識の高さにも感心しました。

訓練も盛況のなか終了し、私たちも日頃からの災害に対する備えや考え方を改めて持つことが重要だと感じた所存です。震災に備えることももちろんですが、近年、ゲリラ豪雨など突然の大雨なども目立ち、水害に対しての危機意識もこういった訓練を通して高めていく必要があると強く感じました。建設業はモノづくりだけではなく、こうした防災訓練などとおして、地域社会に貢献していかなければならないと改めて思いました。

都立秋留台公園のライフライン等の防災機関による体験訓練、ブース展示他。



地震による土砂災害を想定した道路啓開、救出救助訓練



建設業年末年始労働災害防止強調月間
月間 12月1日～26年1月15日
無事故の歳末 明るい正月

施工体験記

道路災害防除工事 (23 西の 5)

大館建設工業 (株) 現場代理人 河村 道明

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 青梅校 2014 年度開講講座

◎宅地建物取引主任者本科コース

- ・講義日時 基礎講義 3月初旬(水)～4月中旬
本講義 4月下旬(水)～9月24日(水)
13時～17時20分 毎週 水

◎1級建築施工管理技士学科講座

- ・講義日程 2月初旬スタート

◎1級土木施工管理技士学科講座

- ・講義日程 3月中旬スタート

◎給水装置工事主任技術者 受験対策講座

- 平成25年8月～10月 (予定)
毎週月曜・水曜
18:30～20:30
(曜日が変更の場合あり)

◎2級土木施工管理技士コース

- 基礎講義 6月26日(木)～7月10日(木)
18時40分～20時10分 毎週 火・木
本講義 7月15日(火)～10月14日(火)
18時40分～20時40分 毎週 火・木

◎2級建築施工管理技士コース

- ・講義日時
基礎講義 9月4日(火)～9月18日(火)
18時30分～20時00分 毎週 火・木
本講義 9月25日(火)～11月4日(日)
9時00～13時00 毎週 日
18時30分～20時 毎週 火・木

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

*連絡先

青梅校(西建協)事務局 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 042-527-3291 担当:澤田

この度、大変名誉ある賞を頂き今後の仕事における大きな励みとなりました。
また、協力業者を始めとした関係各位に大変感謝しており、心より深く御礼申し上げます。

表彰工事現場の施工体験記ということで私自身が特に感じた点について書かせて頂きます。

当現場の、工事概要を簡単に説明しますと、発注者は東京都西多摩建設事務所(奥多摩工区)、工事場所は一般都道204号線(日原街道)の奥多摩町冰川地内です。

主な工事内容は、厚ネット工(法面覆い式ネット)、ロープ掛工、仮設モノレール工です。

今回の工事にあたり特に気を使った点について上げてみました。

①仮設モノレールの点検

②親綱の毎日の点検

③朝礼及びKYによる確実な作業内容の把握

①については、仮設したモノレールは、搭乗及び使用資材の運搬用として兼用しました。そのため、モノレールの支柱及びレールの点検は、毎朝、使用前に作業責任者が点検し、月1回、モノレール設置業者による点検を行いました。

また、不備を発見した際、設置業者に連絡すると迅速な対応をして頂きました。

人命に関わる事のため、設置業者の皆様には大変感謝しています。

②については、法面作業では親綱に命を預けて作業しなくてはなりません。自分の使用する親綱は各自で使用前に必ず点検し、緩み、キンクのない事を確認し作業を行うよう指導しました。

この使用前点検のかいあって、親綱による災害は未然に防げました。

③については、法面作業での事故事例をみると、上下作業での落石等による災害が、上位をしめています。

この予防策として、毎朝の朝礼及びKYにより各作業員の作業内容を全員が把握し作業行いました。

このことにより、無災害で工事を終了することが出来ました。

以上3点が特に気を使った点ですが、本工事は偏にご協力頂きました協力業者の皆様のおかげだと、心より感謝しています。



11 月 事 業 報 告

- 7日 広報委員会 232号編集発行
- 11日 技術安全委員会
- 18日 総務委員会
- 20日 理事会
- 23日 東京都・あきる野市合同総合防災訓練参加
- 25日 25年度技術講習会 (技術安全委員会)
- 26日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議会
平成25年度研修(講演)及び総会開催

12 月 事 業 計 画

- 2日 技術安全委員会
- 6日 第15回西多摩地区安全衛生大会
(建災防西多摩分会)
- 10日 年末工事現場パトロール 西多摩分会
- 10日 事業委員会
- 13日 広報委員会 233号編集発行
- 16日 総務委員会
- 17日 理事会
- 17日 地元大型工事現場視察見学会
①城山トンネル(仮称)整備工事に伴う舗装工事
②将門橋A橋(仮称)上部仕上げ工事
- 28日 建設会館 年末年始休館 1月5日まで
- 1月29日(水)新年会 午後6時から
会場:青梅市福祉センター 3階ふよう

平成25年度青梅労働基準監督署長賞(個人)受賞にあたって

成友興業株式会社 落合 克己

平成25年12月6日、羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホールにて青梅労働基準監督署・一般財団法人青梅労働基準協会・建設業労働災害防止協会東京支部西多摩分会・青梅福生地区安全衛生研究会・青梅地区プレス安全協議会主催の第15回西多摩地区安全衛生大会において安全衛生表彰を受賞することができました。受賞事由につきましては東京労働局労災防止指導員を平成20年4月から平成24年3月まで務め、平成19年6月から現在に至るまで建設業労働災害防止協会東京支部西多摩分会所属の安全指導者として、青梅労働基準監督署管内の建設現場における安全衛生指導を努めるなど、積極的に関与し地域の安全衛生水準の向上に貢献したことでした。

労働安全衛生を取り巻く環境につきましては依然として厳しい状況下にありますが、平成25年10月末日現在の青梅労働基準監督署管内の建設業に関する死傷災害発生状況につきましては、前年度より約33%減少し死亡災害につきましては0件となっています。

今後も安全指導者として青梅労働基準監督署の方と同行し建設現場のパトロールを行っていきますが微力ながらも安全衛生水準の向上に役立てよう努めていきたいと思っております。

